



夏休み子ども体験塾

地域は学びの宝庫

五城目小・五城目一中が夏休み期間中の7月26日から8月19日にかけて、「夏休み子ども体験塾」を行いました。参加した子どもたちは、町内での様々な体験を通じ、それぞれの分野での学びを深めました。今月号では、子どもたちの活動の様子や感想などをご紹介します。

保育体験 (8/8・もりやまこども園)



お昼寝で子どもたちがなかなか寝てくれない時、こども園の先生にアドバイスをもらい、背中をトントンして寝かしつけることができました。こども園の先生たちの仕事は大変ですが、とても楽しそうだったのと、貴重な体験ができて夏休みの良い思い出になりました(五城目一中1年・関□□さん)。

町内施設見学 (8/8・町役場議場ほか)



初めて見た町の議場はとても大きくて、こんなに大きなところで町を良くするための話し合いが行われているのだと分かりました。僕はまだ五城目町の中で行ったことのない施設がたくさんあるので、いろいろなところに行って、もっと町のことを知りたいと思いました(五城目小6年・錦織□□さん)。

座禅体験 (7/26・善性寺)



座禅を組んだのは今回が初めてでした。やってみて感じたのは、心を休めてゆっくりさせるのが大切だということです。これからは、学んだことを普段の生活の中で取り入れ、特に、学校のテストや忙しい時などは、心を落ち着かせて取り組みたいです(五城目小6年・工藤□□さん)。

ドローン体験 (8/10・町地域活性化支援センター)



ドローンの操縦をしてみたとき、「上手だね」と言ってもらえて嬉しかったです。ドローンには、いろいろな種類のコントローラーがあることや、飛んでいる時の音と風が思っていたよりも大きいこと、近くに障害物があったら自動的に止まることなどを知りました(五城目小5年・佐藤□□さん)。

避難所体験 (8/18・広域五城目体育館)



避難所体験で楽しかったのは、みんなで力を合わせながら、室内用のテントやダンボールを使った避難用の間仕切りを組み立てたことです。缶詰の空き缶を使ったランタン作りもとても勉強になったので、この体験を家族にもたくさん伝え、災害に備えたいです(五城目小5年・石井□□さん)。

消防士体験 (7/31・消防隊本部)



放水の時は、水しぶきが上がって楽しかったです。救助の体験をした時は、人形を迷路みたいところから出口まで運ぶのが大変でした。また、消防士は重い服を着て暑いところで仕事をするので大変そうだなと思いました(五城目小4年・工藤□□さん)。

カッティングボード作り (8/2・WOOT事務所)



曲線も直線も、木を綺麗に切るのが難しかったです。仕上げのやすりがけが上手にできました。今回の体験で感じたのは、「デザインする」という工程がものづくりで一番大切だということです。また、ものづくりの楽しさも存分に味わうことができました(五城目一中2年・阿部□□□さん)。

地域の方々が先生となり
様々な体験活動を実施

夏休み子ども体験塾は、子どもたちが町の「ひと・もの・こと」に関わりながら、地域を知り、様々なことを学んでもらおうと、町教育委員会が主体となって実施したものです。
子どもたちは、それぞれの分野での専門的な知識を持つ高性寺の八木下真全さん、WOOTの家員の倍賞迪人さん、株式会社スリーアイバーの皆さん、もりやまこども園の職員、町消防署の署員や自主防災組織育成リーダーの方々に、地域の先生たちに教わりながら、意欲的に体験活動に取り組みました。